

花の苑タイムズ

百花繚乱の季節迎え

各ユニット 外出行事が活発

例年になく寒さが厳しかった冬が去り、百花の春が到来しました。高崎市の苑ではこのほど、関係グループの日高病院駐車場にご利用者職員が順次出向き、開所以来から恒例となつていく桜見物を行いました。日高病院は当施設から五百メートル程の距離に位置し、三年ほど前に駐車場が整備されて以来、周辺の視界が広がり、この時季、青々と茂るケヤキの若葉と共に、一面に咲き誇るソメイヨシノの桜は、身近な地域の名所になっていきます。

これから様々な花情報が届く時季となり、可能な限り花見物に外出して行きたいと思えます。



平成30年 4月10日発行
第43号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

春号特集



想い出散策記

お花見シーズンの真っ最中、H・Iユニットでは観音山公園まで桜見物に出掛けました。観音山公園は、旧カッパピアの跡地に新たな憩いのスポットとして一昨年開園したもので、豊かな自然環境を最大限活かして、公園内は四季折々の花々も楽しむことが出来ます。今年も観音山丘陵一帯の桜も開花が早く、利用者様から「もう散策するかも」との言葉もあり、当初の予定を繰り上げて



「施設花スケッチ」



「日高新入研修」

先日行われた日高病院グループの新人研修の中で、高崎市の苑・加藤施設長が当施設の役割について講義を行いました。

とした表情をされていました。

現地に到着し、目の前の視界が大きく広がる中で、満開の桜を目にされると、皆さん口々に「綺麗だね！」と満面の笑顔で話されていました。(H・Iユニット A)



寄稿稿

「勉強する意義を話せる親(大人)に」

秋山末司

人間は、勉強することによって、人間になることができず、これは、狼に育てられた少女の話からも明らかです。

狼に育てられると、四足で歩き、生きたニワトリを食べ、夜になると起き上がり、狼のように吠えたと言われています。

このことは、人間の子は、人間として生まれても、狼と一緒に生活すれば、人間として育たず、狼として育つことを示しています。

学ぶことの意義とは

また、人間が文化を創造し、進化させてきたのは、手の誕生(発達)があったからだと言われています。

人間は、手で道具を作ること、脳を発達させてきました。道具を作ること、使うことを考えるので、脳がよく働

くのです。

また、様々な法則を発見してきましたが、これらのことは、人間の生活を豊かにし、社会を発展させてきました。また、より良い生活を求めて学問をつくり上げてきました。

また、様々な法則を発見してきましたが、これらのことは、人間の生活を豊かにし、社会を発展させてきました。また、より良い生活を求めて学問をつくり上げてきました。

学びは自他共の成長を促す

私たちは、平和で豊かな生活を求めて勉強しているわけですが、社会が進歩し、複雑になると、それに適応できるように勉強する必要があります。

そして、自分自身が生きがいのある人生を送れるようにするため勉強するのです。

そればかりでなく、人のため、社会のために役立つこと、良き社会の形成者になるために勉強する必要があります。

(社会福祉法人 健全会 理事)

雑感手帖

加藤和昭

私が中学生の時、高崎の古着屋さんで初めて買

委員会 ダイジェスト 「サービス向上委員会」

サービスマネジメント向上委員会では、一月にご家族へのアンケートを実施させていただきました。内容はご利用者の日常生活の様子、職員の対応、ユニット内の環境面に対する質問をさせていただき、貴重なご意見をいただく事が出来ました。

ご家族からのご意見をサービスマネジメントの向上に反映させていけたらと思います。先日、苑内研修で公表させていただきました。

ディスカッションを交えながら、職員立場ではなく、ご利用者やご家族の立場に立ち、あらためて考えることが出来ました。現状において不十分

地域交流イベントが再開

インフルエンザ等感染症予防期間が明け、四月から地域交流イベントが再開されました。

四月は、民謡教室、ハーモニカ演奏会、歌声カフェ、日本舞踊/フラダンス、マジックショー、音楽教室などが予定されています。

このうち、実施済みの写真を掲載します。



であることを知り、私達の今後の課題を具体的にし、取り組んでいくことにしました。

課題の一つとして、ご家族に対して、積極的なご利用者の情報提供が上げられ、更に力を入れていく部分となります。ご利用者への支援、特に個

別ケアを進めていく上において、ご家族との情報共有は必要不可欠となります。

ご利用者・ご家族から安心と満足をしていただくために、今後も最大限努めていきたいと思っております。

(委員長・徳永)

第40回市民福祉大会開催 地域福祉の充実を推進

第四十回たかさき市民福祉大会がこのほど、高崎市文化会館で開催されました。市民福祉大会は、地域福祉の一層の充実と福祉のまちづくりを推進する関係者の決意を確認するとともに、本市の社会福祉の一層の充実を目指すことを目的に毎年開催（主催：高崎市・高崎社協）されているもので



大会の中で、富岡賢治市長は「地域の福祉関係者皆様の地道な活動に支えられて、今日の福祉行政の発展がある」と参加者に謝意を述べられました。



永年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々へのボランティア顕彰・社会福祉事業功労者表彰では、高崎市の苑が推薦した「みやまハーモニカクラブ」が老人福祉施設などへの永年の訪問演奏活動が評価され、ボランティア顕彰を受けられました。



大会ではこのあと、地域共生社会実現に向け、地域社会を支える構成員すべてが地域福祉推進の担い手として連携・協働することが重要だとする「大会宣言」（別掲・下段左）を発表し、閉会となりました。

「はがき絵の会」が施設訪問 地域交流作品展

一号館二階・地域交流スペースのギャラリーコーナーでは、現在「はがき絵作品展」を開催中です。

先日、「はがき絵の会」の岡田秀子先生をはじめメンバーの皆様が、開催中の作品展をご覧になられたあと、施設長の案内で施設内を見学されました。



交流イベントより



「大会宣言」

『少子高齢化の進展、雇用や家族形態の変化等を背景に、社会における課題が多様化、複雑化しています。そして、所得格差による貧困問題や、疾病や介護などにより直面する深刻な生活課題は、特別なことではなく、今や、誰にでも起こり得る身近なものになってきています。このような中、国は、ニッポン一億総活躍プラ

ンにおいて、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現に向けた、国民全体としての福祉の提供体制を見直す動きが活発化しています。地域住民をはじめ、地域社会を支える構成員すべてが地域福祉推進の担い手として、それぞれの役割を分担しながら、連携・協働することが重要となっており、互いに問題意識を共有して、「高崎市の地域力」向上のために、手を携えていくことが求められています。

本日、ここに第四十回たかさき市民福祉大会を開催するにあたり、私たちは地域で支え合うことの大切さや、健康でいきいきと暮らせる地域福祉を推進することを決意しここに宣言いたします。』
平成三十年二月十七日
第四十回たかさき市民福祉大会



ユニットたより

「陽春の三色ゼリー」

三月に入り、暖かい日差しを感じられるようになりました。そんな中で今回は、陽春の季節にぴったりの洋菓子「三色ゼリー」づくり挑戦しました。

ゼリーづくりは簡単そうに見えてじつは下準備が大変です。朝早くから仕込みを開始しました。三段目にはメロンジュース。二段目にサイダー。一段目に苺ジュースという段取りでセッティングをし、途中で利用者様にも手伝って頂きました。果たしてうまくいくのかと、不安を抱えながら職員を尻目に「きれいに出来たかな」「美味しく出来ていますように」



などと皆さん期待を膨らませながら、完成を心待ちにされていました。

そして、なんとが出来あがったゼリーをお出しすると、「きれいに出来ているね」「美味しくてきているよ」などと言っていたら、担当職員もプレッシャーからようやく解放されました。（A.S.Sユニット K）

「桜の下で甘酒？」

三月のユニット行事では、初めての甘酒づくりを行いました。作り方を入念に調べ、前日の夜から仕込みを開始して準備は万端！当日は、かき混ぜる作業などを利用者様に手伝っていただきました。



その甲斐もあって、初めての挑戦にもかかわらず本格的な甘酒が出来上

がりました。「この甘酒、とってもおいしいよ！」「おかわり！」等々、嬉しい感想があちこちから聞こえてきました。

甘酒は飲む点滴とも言われ、栄養分が豊富で健康や美容にもとても良いそうです。これで皆さんの健康もバッチリではないでしょうか？

という訳で、花見シーズンの最中、気分は桜の下で甘酒を頂く、というユニット行事でした。（B.Cユニット K）

「いちごムースの春」

二月はビンゴ大会を開催し、寒さを吹き飛ばすほど大盛況でしたが、春を迎え、三月は恒例の調理レクで「いちごムースづくり」を行いました。

いちご味のマシヌマロと牛乳をレンジで温め、それを利用者様にもお手伝いして頂き、泡立て器で溶かしました。そのあと、容器のカップに入れて冷やし固まったらトッピングをして完成です。トッピングには、食べやすい大きさにカットし



たいちごといちごジャムそして生クリームを用意してご自分で好きなようにトッピングしてもらいました。皆様あつという間に召し上がり、「お店に売っているものみたいで美味しいよ！」「もつと食べたいよ！」と喜ばれておりました。

今回は職員の分も特別に作り、利用者様と一緒に美味しく頂きました。春らしく、ピンク色の可愛らしいムースができて、利用者様と共に春を感じる事が出来ました。（Dユニット・S）

すこやか生活日記

料理をするときに欠かせない調味料。味付けはもちろんです。そのほかに様々な作用を持っています。

食塩は防腐作用を持つ他に、小麦粉から作られる生地をつなぐりを強くします。また、魚のすり身やつくねなどの粘性を増やします。

味噌のコロイド粒子には臭みの成分を吸着する作用を持っていて魚などの生臭さをカバーしてくれます。

砂糖は保水性が高く、どんぶんの老化（ごはんやパンが時間が経つと硬くなる現象）を防ぎます。また、たんぱく質の変性を抑制するため、卵料理に砂糖が加わるとやわらかい仕上がりがとなります。

味付けの他に料理をおいしく仕上げるための働きをしています。ことがわかり、（管理栄養士）



編集後記

★先日、お花見に行き、満開でとても綺麗でした。天気にも恵まれ、絶好のお花見日和となりました。★先日、親音山公園に行った際、風揚げをして子供を見て、「かわいいね。昔を思い出すな」と、遠い昔を懐かしむご利用者の姿がありました。（A）★楽しみにしていたお花見に行ってきました。利用者様も職員と日高病院の桜を見て、とても喜ばれていました。（S）★交流イベントが再開しました。先日とある利用者様は久しぶりにマイクを持って歌声を披露。部屋に戻りながら「やっぱり歌はいいなあ」と笑顔を見ることができました。（S）★感染症対策の期間が終了。四月から施設内に再び音楽が流れるなど活気が戻ってきました。みやまハーモニカクラブ（十名）の演奏会はボランティア顕彰を受けただけに、見事な演奏でした。（N）